

福島区区政会議
保健福祉・総務部会資料

令和8年度
福島区運営方針中間報告

令和8年9月16日開催

経営課題3 「次世代を元気に育むまちづくり」に関する取組

取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	・ 妊娠期からの切れ目のない子育て支援 ・ 幼児教育・保育環境の充実 ・ 小・中学生の学力・体力向上 ・ 不登校児童生徒への支援 ・ 小学校の良好な教育環境づくり			
令和8年度の 取組概要	出産・子育てで感じる孤立感や不安感、疲労感等を軽減するため、「赤ちゃん広場」や「美ママ講座」など各種事業を実施するとともに、「授乳に関する助産師の専門相談」「ペアレントトレーニング事業」など保護者の養育力向上を支援する事業に取り組む。 利用者支援専門員による保育施設・幼稚園などの情報提供や利用相談により保護者の働き方を支援する。また、2027（令和9）年4月に予定している海老江西幼稚園休園後に、西野田幼稚園・貫江田幼稚園が引き継ぐ機能や役割について、地域・保護者の意見を踏まえながら関係部署に働きかけ、幼児教育の充実に向けて取り組む。 小・中学校の児童生徒に対しては、トップアスリートによる「ゲストティーチャー派遣事業」による体力向上や、民間事業者を活用した学習支援による学力向上・キャリア教育の推進、有償ボランティアによる不登校支援など、学校と連携しながら、それぞれの学校教育の現場ニーズに応じた取組を行う。 学びを支える良好な教育環境を確保するため、児童数の減少や急増などの推移を注視しながら、通学区域の変更や学校選択制における受入抑制の手法により学校規模の適正化を図る。また、熱中症リスクへの予防対策を講じることにより学習環境を整える。			
令和8年度の 主な取組	取組内容	6 決算額	7 決算見込額	8 予算額
	育児不安軽減に向けた子育て支援事業	1,351 千円	1,326 千円	1,666 千円
	赤ちゃん広場・発達障がい児の親のための相談事業	485 千円	909 千円	1,000 千円
	ペアレントトレーニング事業	5,469 千円	5,689 千円	6,588 千円
	公立の幼稚園に対するボランティアの配置	— 千円	523 千円	666 千円
	小・中学生の基礎学力・体力向上事業	228 千円	438 千円	768 千円
	不登校児童生徒支援事業（ボランティアの配置）	— 千円	1,803 千円	5,064 千円
	小学校熱中症対策事業	— 千円	— 千円	5,346 千円
	合計	7,533 千円	10,688 千円	21,098 千円

主な取組実績
(7月末時点)

- ・「美ママ講座」を5月に開催。
(8月、11月、2月に開催予定)
- ・「授乳に関する助産師の専門相談」を月1回
3か月健康診査に併設実施。
- ・「赤ちゃん広場」を月1回開催。
- ・「ペアレントトレーニング事業」では、連続
講座(前期・中期)のほか、7月に保護者・
支援者を対象に障害年金セミナーを開催。
- ・公立幼稚園3園にボランティア(計8名)を
配置し、各園の活動を支援。
- ・民間事業者と協定を締結し、区民センターで
課外学習事業「TERACO」を開講。
(対象:小学5・6年生及び中学生)
- ・ゲストティーチャーを3校に派遣。
(全小中学校に派遣予定)
- ・小中学校9校にボランティア(計11名)を
配置、不登校児童生徒への支援を実施。
- ・「小学校熱中症対策事業」として、ミストを
全9校に配置。
- ・大阪市立西野田幼稚園の3歳児クラス設置
(令和9年4月～)を区広報誌等で周知。
- ・令和9年4月の保育所一斉入所手続きから
オンライン申請を導入予定。
- ・保育所(定員40名)の開設(令和9年4月～)。



美ママ講座の様子



赤ちゃん広場の様子



ゲストティーチャーによる授業の様子

経営課題ごとの取組



経営課題4 「いきいきと健康に暮らせるまちづくり」に関する取組

取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	・「多様化する福祉ニーズ」を受け止め、適切に対応できる体制づくり ・住民同士がお互い気につなげ、つながり、支え合うことができる地域づくり ・介護予防の更なる推進 ・「健康寿命」の延伸をめざした取組の推進			
令和8年度の取組概要	複雑化・複合化する福祉ニーズに対応するため、「福島区地域保健福祉ビジョン」に基づき、地域包括支援センターや障がい者基幹相談支援センターなどの相談支援機関と連携を進め、多様化する個々の福祉課題の解決に取組み、区民に対して福祉に関する相談先の認知度の向上を図るとともに、住民同士の見守りなど地域福祉活動を支援し、お互いに気につなげ、つながり支え合う地域づくりに向けた取組を進めていく。 様々な主体との連携・協働を図りながら、おおさか健活マイレージ「アスマイル」の活用を推進するなど、区民の介護予防に関する意識の向上を図り、活動の実践につなげる。 誰もがいきいきと毎日を暮らせるとともに、日頃から健康への関心を高めてもらえるよう、生活習慣病予防の啓発等に取り組むとともにがん検診等の受診率向上に努める。			
令和8年度の主な取組	取組内容	6 決算額	7 決算見込額	8 予算額
	「みんなの相談室」・「福島お助けネットワーク」事業	16,015 千円	17,533 千円	18,260 千円
	地域福祉に関する広報啓発	274 千円	562 千円	336 千円
	健康づくり推進事業	320 千円	328 千円	685 千円
	合計	16,609 千円	18,423 千円	19,281 千円

主な取組実績
(7月末時点)

- ・「お助けネットワーク事業」について、令和7年4月から64歳以下の方で生活課題（ケガ、病気等）があり周囲に支援する人がいない方を対象者に拡大。拡大点をわかりやすくするため、6月にホームページを修正し、7月にチラシ原稿を作成。
- ・「みんなの相談室」について、地域福祉コーディネーターが相談等に対応。
- ・介護予防のためのアスマイルの活用。「のだふじスポットウォーキングラリー」（4月開催）・「第3回福島区ふくふくまつり」（5月開催）。
- ・区民が日頃から健康への関心を高めてもらえるよう、5月と7月に「血管年齢測定」を開催。（10月にも開催予定）
- ・「健康展」を10/17（土）開催に向けて関係機関と調整中。
- ・筋力・持久力向上など、健康づくりに向け、「インターバル速歩体験会」を11/7（土）及び11/21（土）に開催予定。
- ・特定健康診査・がん検診のチラシを医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携して周知。



お助けネットワーク事業での支援の様子



血管年齢測定の様子